

IRIS OHYAMA

コーヒーマーカー **室内・家庭用**

型番 CMS-0800

取扱説明書



保証書付き(裏表紙)

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用の前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう、大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

本製品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

最新の取扱説明書はこちらからご確認ください。

<https://www.irisohyama.co.jp/products/manual/pdf/103453.pdf>



もくじ

準備と確認

安全上の注意	2
使用上の注意	5
各部の名称	6

使いかた

お使いになる前に	7
使いかた	
・ コーヒーマーカーにドリップ	8
・ マグボトルにドリップ	12
お手入れ	15

こんなときには

お困りのときは	17
仕様	18
保証とアフターサービス	19
保証書	裏表紙

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号
です。



禁止を示す記号
です。



必ず行うことを示す記号
です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的
に取る

ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。

- 電源プラグはコンセントの奥
まで確実に差し込む

ショートによる火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動の際は、
必ず電源プラグをコンセント
から抜く

感電・けがの原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き
差しをしない

感電・やけど・けがの原因になります。



- 電源コードをたばねて通電し
ない

過熱して火災・やけどの原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。

- 交流100V以外では使わない

火災・感電の原因になります。



- 電源コードや電源プラグが傷
んだり、コンセントの差し込
みがゆるいときは使わない

ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、修理専用コールへお問い合わせください。

- 電源コードを傷つけない

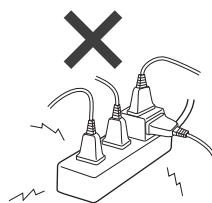
- 持ち運び時や収納時に電源
コードを引っ張らない

傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものをのせる、挟み込むなどしないでください。

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

- コンセント
や延長コードなどの定
格を超える
使いかたを
しない

火災の原因になります。





- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く

火災・発煙・感電のおそれがあります。

【異常の例】

- 異常な音やにおいがする
 - 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
 - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
 - 運転中時々電源が切れる
 - 触れるとピリピリ電気を感じる
- ➔ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



- 屋外で使用しない

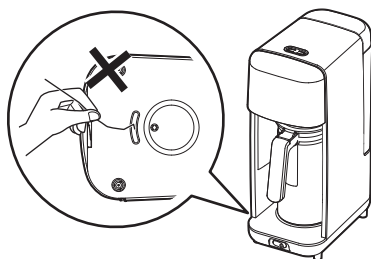
火災・感電の原因になります。



- 製品のすき間や開口部に、異物を入れない

火災・感電・けがの原因になります。

異物が入ったときは、お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。



- 蒸気口や保温プレートに手や顔などを近づけない
やけどの原因になります。

- ドリップ中はドリップバスケットを外さない
やけど・けがの原因になります。



- 子どもなど取り扱いに不慣れた方だけで使わせたり、幼児に触れさせたりしない
感電・やけど・けがなどの原因になります。



水ぬれ禁止

- 水まわり、風呂場など湿気のある場所では絶対に使用しない

- 本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない
火災・感電の原因になります。



分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。修理については、お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。

安全上の注意 つづき



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



- 水タンクに水を入れないでドリップしない
- 水タンクに水以外のものを入れない
火災・やけどの原因になります。



- コーヒーメーカー以外の用途に使用しない
火災・異常動作の原因になります。



プラグを抜く

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
絶縁低下により、火災・感電の原因になります。



- 壁や家具、カーテンなど、燃えやすいものの近くで使用しない
- 畳・じゅうたん・テーブルクロスなど熱に弱いものの上で使用しない
周囲や家財の変色・汚損の原因になります。



- 水平で安定した場所で使用する
不安定な場所で使用すると、転倒・落下して火災・けがの原因になります。



- コーヒーサーバーを落としたり、かたいものにぶつけない
- コーヒーサーバーを冷凍庫に入れない
- コーヒーサーバーを急に冷やさない
ガラスが割れて、やけど・けがの原因になります。



- 必ず付属のコーヒーサーバーを使用する
火災・やけど・けがの原因になります。

- 置台を使用するときは付属のコーヒーサーバーを使用しない
- マグボトルにドリップするときは必ず置台を使用する
- マグボトルは容量が350mL／500mLのものを使用する
- 口径の小さいマグボトルは使用しない
- 飲み口やせんが外せるマグボトルは、飲み口やせんの部品を外してからセットする
コーヒーがあふれて、やけどや故障の原因になります。また、周囲の家財の変色・汚損の原因になります。

- マグボトルにドリップした後、そのまま保温しない
故障や火災・変形の原因になります。

- マグカップは使用しない
コーヒーが飛び散りやけど・汚損の原因になります。



- コーヒーサーバーや置台とマグボトルをセットせずにドリップしない
- ドリップ途中でコーヒーサーバーや置台とマグボトルを外さない
- 付属のコーヒーサーバーを他の機器で使用しない
- コーヒーサーバーを電子レンジ・直火で使用しない
火災・やけどの原因になります。

- コーヒーサーバーや置台とマグボトルをセットしたまま本体を移動させない
落下してやけど・けがの原因になります。

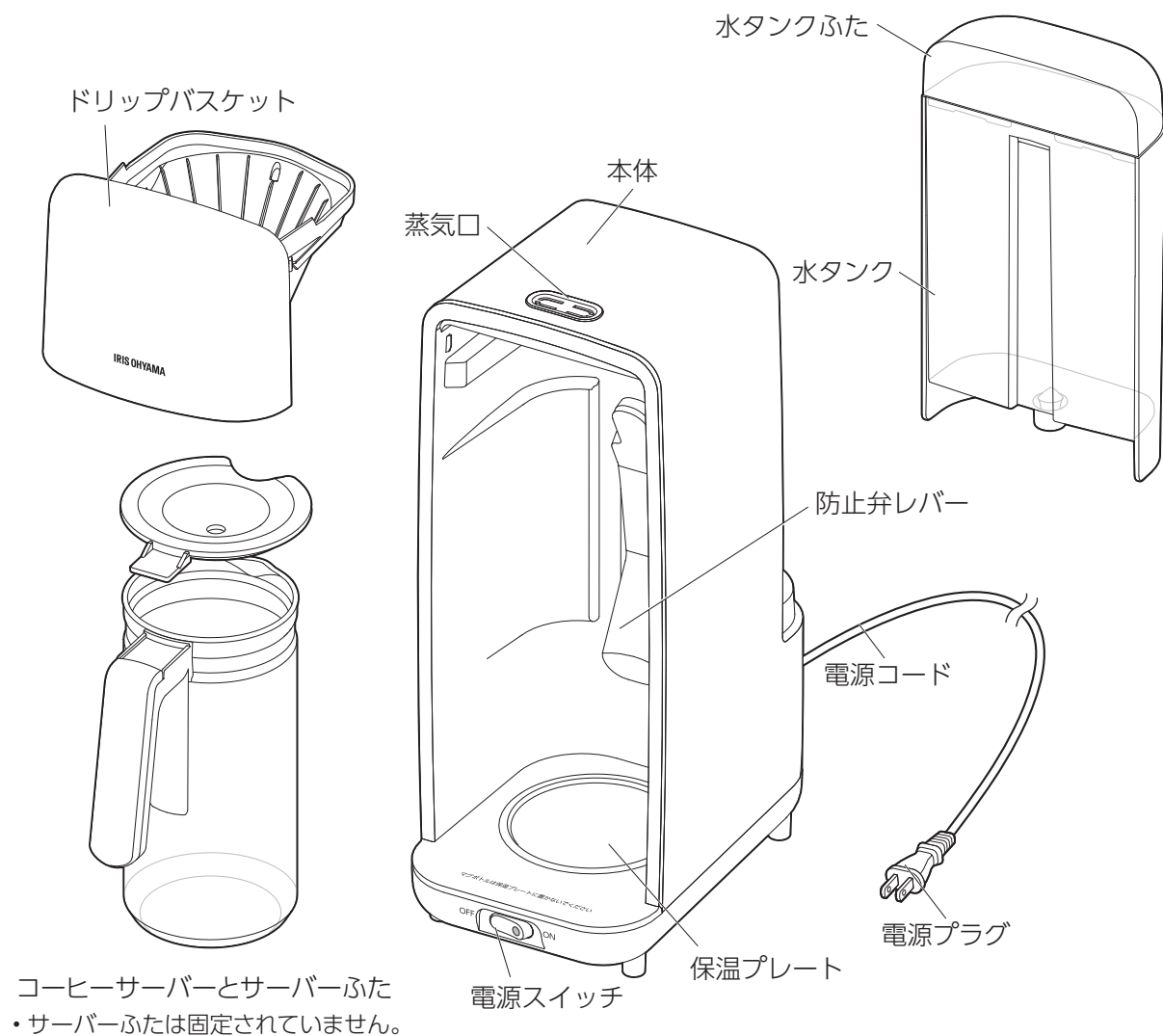
使用上の注意

- 水タンクに水を入れたまま放置しないでください。
- ドリップバスケットにコーヒー粉を入れたまま放置しないでください。
- コーヒーサーバーやマグボトルにコーヒーの残りを入れたまま放置しないでください。
変色・におい・腐敗の原因になります。
- お手入れは保温プレートが冷めてから行ってください。
やけどの原因になります。

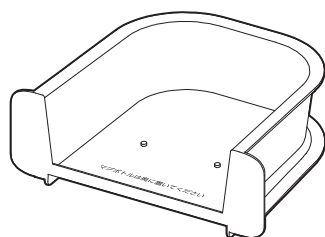
廃棄について

- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

各部の名称

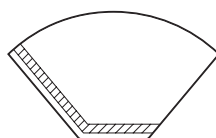


■付属品



置台

・マグボトルにドリップするときに使います。
 ※マグボトルは付属していません。



ペーパーフィルター×5

・市販のものも使えます。
 サイズ: 1×2または102



計量スプーン

・すり切り1杯: 約6g

お使いになる前に

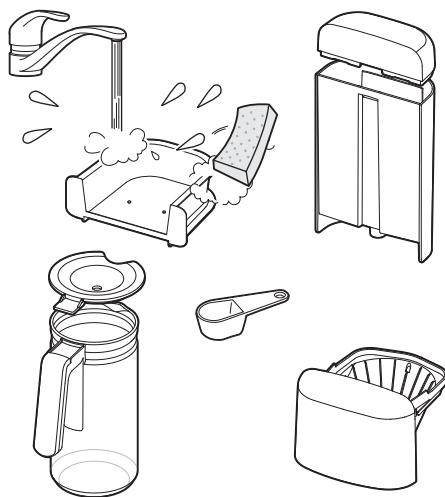
初めて使用するときや、長期間使用しなかったときは、各部の洗浄を行ってください。
(→P15「お手入れ」)



注意

- 洗う際は本体および電源コード、電源プラグに水をかけないように十分ご注意ください。
- 衝撃を加えないでください。
- 熱湯は使用しないでください。
- みがき粉・たわし・シンナー・ベンジン・漂白剤などは使用しないでください。
- 洗浄する際は、台所用中性洗剤をご使用ください。

1 本体以外の部品・付属品を水洗いする

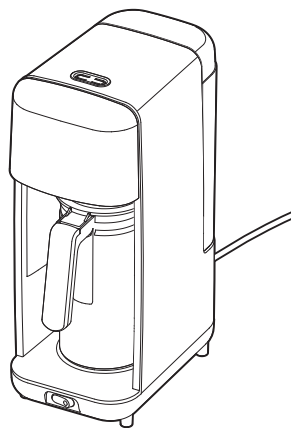


2 本体内を洗浄するために、1～2回ドリップする

- 水は水タンクのホット  目盛「6」まで入れます。
コーヒー粉やペーパーフィルターはセットしないでください。
- ドリップ後のお湯は捨てます。

！ 注意

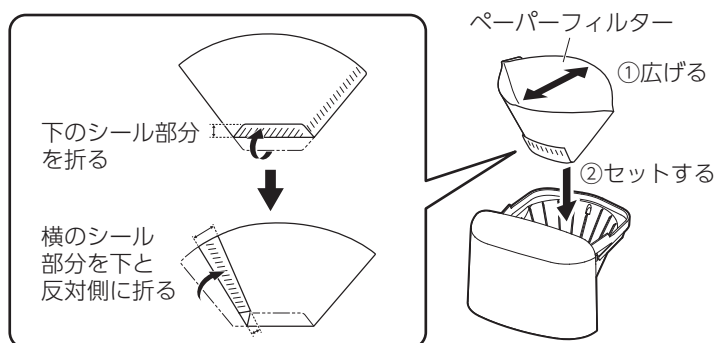
水タンク以外に水を入れないでください。



使
い
か
た

使いかた コーヒーサーバーにドリップ

1 ドリップバスケットにペーパーフィルターをセットする



2 コーヒー粉を付属の計量スプーンで 上面が平らになるようにペーパー フィルターに入れる

- 細挽き粉は使用しないでください。また、粉の種類によってはドリップ時にコーヒー粉がドリップバスケットからあふれる場合があります。その場合は作るコーヒーの量（カップ数）を減らしてください。
- アイスコーヒーを作るときは、アイスコーヒー用の粉を使用してください。
- アイスコーヒーは濃いめにでき上がります。



コーヒー粉を入れる目安

コーヒー粉の量はお好みにより加減してください。
1 カップ数より少ない量は作らないでください。

<ホットコーヒー>

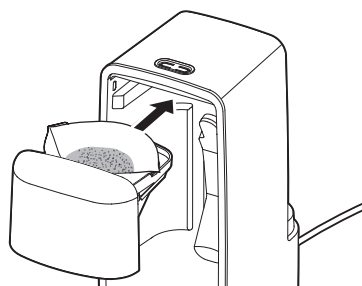
カップ数	コーヒー粉の量 (付属の計量スプーンすり切り)
1 カップ	2 杯
2 カップ	3 杯
3 カップ	4 杯
4 カップ	5 杯
5 カップ	6 杯
6 カップ	7 杯

<アイスコーヒー>

カップ数	コーヒー粉の量 (付属の計量スプーンすり切り)
1 カップ	—
2 カップ	3 杯
3 カップ	4 杯
4 カップ	5 杯
5 カップ	6 杯
6 カップ	7 杯

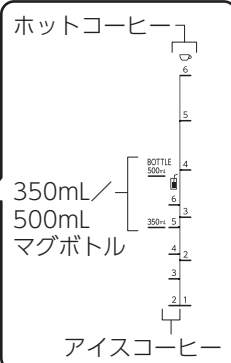
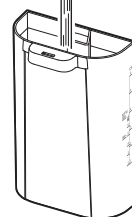
3 ドリップバスケットを本体に取り付ける

- 必ずコーヒーマシンより先にドリップバスケットを取り付けてください。
- ドリップバスケットは本体の奥まで確実に入れてください。



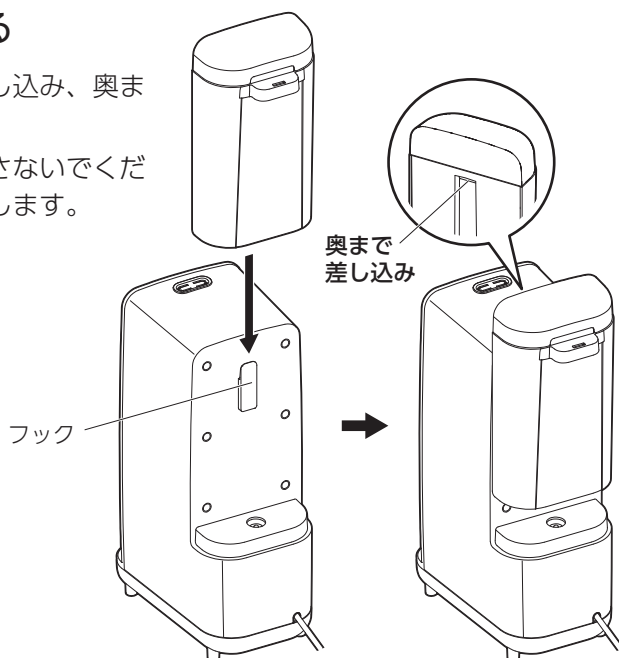
4 水タンクに水を入れる

- 水を入れるときは、必ず水タンクを本体から外してください。
水が本体内部に流れ込み、水量が多くなります。
- ホット ☕ もしくはアイス 🧊 の目盛に合わせて、作るコーヒーのカップ数に応じた水の量を入れてください。
- ホット ☕ 6を超える量の水を入れないでください。



5 水タンクを本体に取り付ける

- 背面のフックに引っかかるように差し込み、奥まで確実に取り付けてください。
- 本体に取り付けた後は水タンクを外さないでください。本体から水が逆流して水もれます。

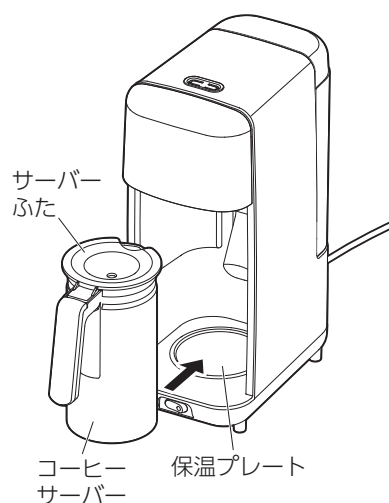


使
い
か
た

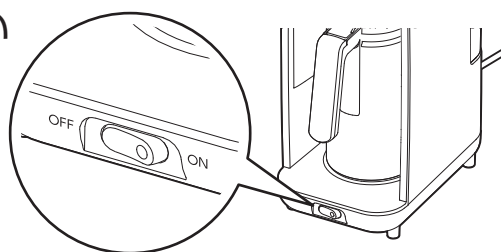
使いかた コーヒーサーバーにドリップ つづき

6 コーヒーサーバーを保温プレートにセットする

- 必ずサーバーふたを取り付けてください。

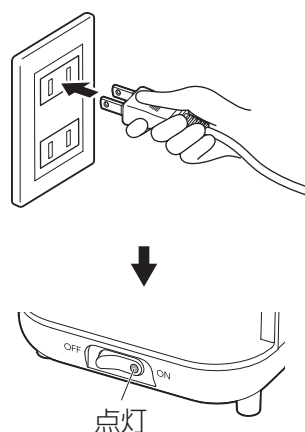


7 電源スイッチが「OFF」になっていることを確認する



8 電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチをONにする

- 電源スイッチランプが白く点灯し、ドリップを開始します。



9

お湯が止まったら電源スイッチをOFFにしてコーヒーを注ぐ

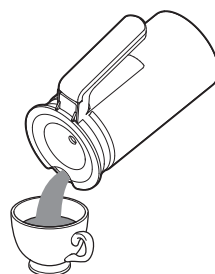
- ・コーヒーサーバーの目盛はホット ☕ の仕上がり目安です。コーヒー粉の吸水具合により、コーヒーのでき上がり量とコーヒーサーバーの目盛に差が出る場合があります。

●保温するときは電源スイッチをONのままにします。

※長時間保温すると風味が損なわれるので、保温時間は15分以内を目安にしてください。

- ・コーヒーサーバーが空または残りが少なくなったら電源スイッチをOFFにしてください。保温を続けると焦げ付きやにおいの原因になります。

●連続してドリップするときは電源スイッチをOFFにして、本体を10分以上冷ましてから使用してください。



警告

- 各部が熱いうちに水を入れたり、動かしたりしないでください。
熱湯や蒸気が出るおそれがあります。

●アイスコーヒーを作るときは、氷を入れたグラスにでき上がったコーヒーを注ぎ、かき混ぜて冷やしてください。

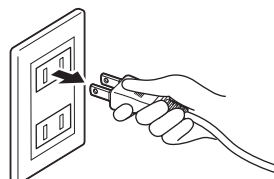
- ・コーヒーサーバーに直接氷を入れてかき混ぜないでください。
グラスが割れる原因になります。



10

電源プラグを抜く

- ・使い終わったら必ず電源スイッチをOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。



使
い
か
た

11

本体が冷めたらドリップバスケットを取り出す

- ・ドリップ後のコーヒー粉はペーパーフィルターごと取り出してください。

使いかた マグボトルにドリップ

●使用できるマグボトル

	高さ（飲み口やせんを除く）	口径
マグボトル350mL	17cm 以下のもの	4.5cm 以上
マグボトル500mL	21cm 以下のもの	

- ・マグボトルへドリップするときは必ず飲み口やせんを外してください。
- ・背が低いマグボトルの場合、ドリップ時にコーヒーが飛び散る場合があります。
- ・口径の小さいマグボトルは使用しないでください。
- ・マグカップは使用できません。

1 ドリップバスケットにペーパーフィルターをセットする（→P8）

2 コーヒー粉を付属の計量スプーンで上面が平らになるようにペーパーフィルターに入れる

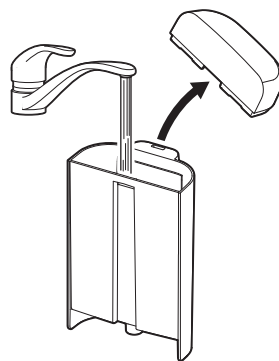
コーヒー粉を入れる目安

	コーヒー粉の量 （付属の計量スプーンすり切り）
マグボトル350mL	4 杯
マグボトル500mL	5 杯

3 ドリップバスケットを本体に取り付ける（→P9）

4 水タンクに水を入れる（→P9）

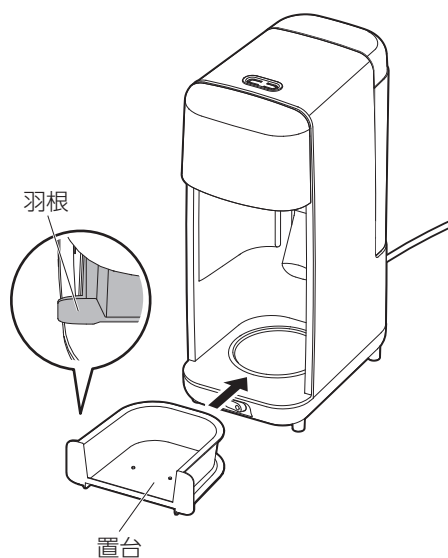
- ・BOTTLEの350mLもしくは500mLの目盛に合わせて水を入れてください。



5 水タンクを本体に取り付ける (→P9)

6 置台を本体にセットする

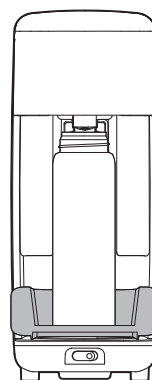
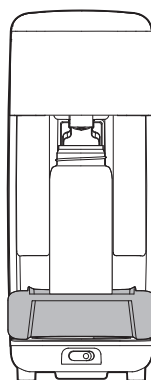
- マグボトルにドリップするときは必ず置台を使用してください。
- 置台の羽根部分が必ず本体に当たるように、奥まで入れてください。



- マグボトルの容量が350mLの場合と500mLの場合で置台の上下（高さ）を変えてください。

350mLの場合

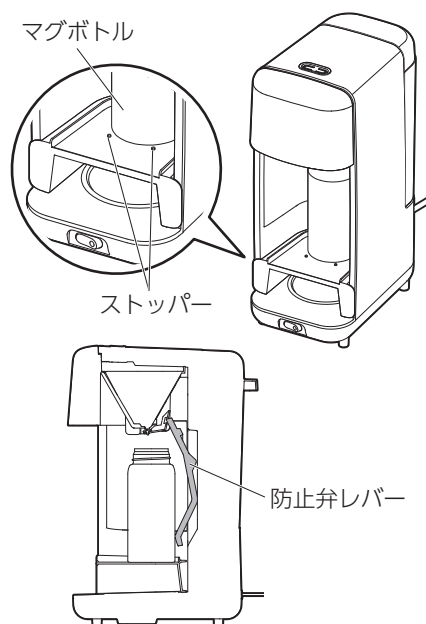
500mLの場合



使いかた マグボトルにドリップ つづき

7 マグボトルを防止弁レバーに当たるように、置台の奥まで入れる

- 置台表面のストッパーよりも奥にマグボトルをセットし、防止弁レバーを押してください。
推奨マグボトル直径：Φ65～67mm
マグボトルの大きさによっては、コーヒーがうまくドリップできないことがあります。
- マグボトルを奥まで入れて防止弁レバーを押さないと防止弁が開きません。



8 電源スイッチが「OFF」になっていることを確認する（→P10）

9 電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチをONにする（→P10）

10 お湯が止まったら電源スイッチをOFFにして、マグボトルを取り出す

- マグボトルの底が熱くなっているので取り出すときは注意してください。
- 保温はしないでください。
故障や置台の変形の原因になります。
- 連続してドリップするときは電源スイッチをOFFにして、本体を10分以上冷ましてから使用してください。

11 電源プラグを抜く（→P11）

- 使い終わったら必ず電源スイッチをOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

12 本体が冷めたらドリップバスケットを取り出す（→P11）

お手入れ

使用後は毎回お手入れをしてください。



警告 ●お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



注意

- 洗う際は本体および電源コード、電源プラグに水をかけないように十分ご注意ください。
- 衝撃を加えないでください。
- 熱湯は使用しないでください。
- 洗浄する際は、台所用中性洗剤をご使用ください。
- シンナー類・クレンザー・漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわしなどを使わないでください。

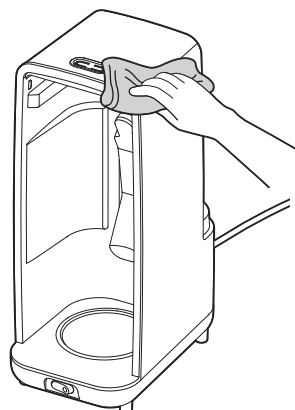
■ 本体

よくしぼったふきんでふく

- ・台所用中性洗剤をうすめたお湯に布をひたし、かたくしぼってふきます。
- ・乾いた布で水分・洗剤分をふき取り、十分に乾燥させます。

！ 注意

- 本体を水につけたり、水をかけたりしないでください。
- 蒸気口に汚れが付着した場合はふき取ってください。



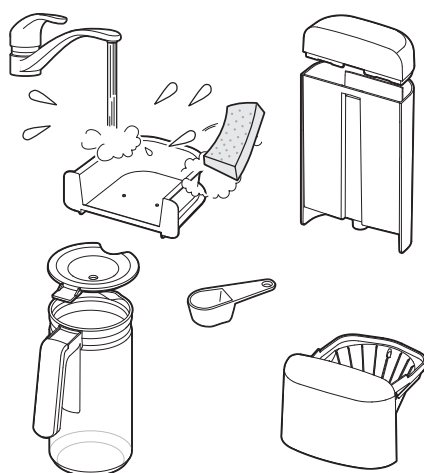
■ コーヒーサーバー・サーバーふた・ドリップバスケット・水タンク・水タンクふた・置台・計量スプーン

台所用中性洗剤を使用して洗い、水で流す

- ・台所用中性洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、スポンジや歯ブラシを使って洗い、水ですすぎます。
- ・乾いた布で水分をふき取り、十分に乾燥させます。

！ 注意

- 洗剤分が残らないようにしてください。
樹脂などの劣化・変色の原因になります。
- 食器洗い機、食器洗い乾燥機、熱湯などは使用しないでください。
- 水タンクのパッキンは外さないでください。
水もれの原因になります。



使
い
か
た

お手入れ つづき

■ お湯の出具合が悪くなったとき・いつもよりドリップする時間が長くなる時

クエン酸を使って本体内を洗浄します。

- 1 ドリップバスケットとコーヒーサーバーを本体にセットする
ペーパーフィルター・コーヒー粉はセットしないでください。
- 2 水タンクにクエン酸約10g (大さじ1杯) を入れ、ホット  目盛「4」まで水を入れてまぜる
- 3 電源スイッチをONにしてドリップする (→P10)
- 4 クエン酸水がホット  目盛「2」まで減ったら、電源スイッチをOFFにする
- 5 約10分たったら、水タンクに残ったクエン酸水を捨てて、すすぐ
- 6 コーヒーサーバーのお湯を捨てる
- 7 クエン酸水のおいを取るために、水タンクのホット  目盛「6」まで水を入れ、1～4回ドリップする
ペーパーフィルター・コーヒー粉はセットしないでください。
ドリップ後のお湯は捨ててください。

お困りのときは

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みの上、下記の点を確認してください。

こんなとき	ご確認いただきたいこと
コーヒーができない	● 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていない。 → 電源プラグをコンセントに確実に差し込む。 ● 電源が切れている。 → 電源スイッチを「ON」にする。 ● 水タンクに水が入っていない。 → 水タンクに水を入れる。 ● 防止弁レバーに当たっていない。 → コーヒーサーバーは保温プレートに正しくセットし、マグボトルは奥まで確実に置く。
コーヒーがあふれる	● ドリップバスケットが正しくセットされていない。 → ドリップバスケットを正しくセットする。 ● コーヒーサーバーが正しくセットされていない。 → コーヒーサーバーを正しくセットする。 ● コーヒー粉を入れすぎている。 → コーヒー粉の量を正しくする。 ● 水タンクに水を入れすぎている。 → 水タンクに入れる水の量を目盛に合わせる。 ● マグボトルの容量が合っていない。 → 容量が350mL / 500mLのものを使用する。(→P12)
保温温度が低い	● コーヒーサーバーが保温プレートの上に正しくセットされていない。 → コーヒーサーバーを保温プレートに正しくセットする。
ドリップのスピードが遅い	● 本体内の給水経路などに湯あかが付着している。 → クエン酸洗浄をする。(→P16)

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

● ご自分で分解・修理・改造をしないでください。

仕様

電源	AC100V、50／60Hz
定格消費電力	650W
最大使用水量	800mL
ドリップ方式	ドリップ式
寸法	幅151×奥行260×高さ390mm（コーヒーサーバー、付属品を除く）
質量	約1.6kg（コーヒーサーバー、付属品を除く）
電源コード長さ	約1.2m

※ 製品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。
保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書（裏表紙）に記載されています。
保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、5年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

愛情点検 	長年ご使用のコーヒーメーカーの点検を！ こんな症状はありませんか ●電源コードや電源プラグが異常に熱くなる ●電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする ●本体が変形・破損していたり、焦げくさいにおいがする ●その他異常や故障がある ご使用中止 故障や事故防止のため、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検を依頼してください。
---	---

コーヒーマーカー 型番 CMS-0800

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※ 年 月 日		保証期間 お買い上げ日より：1年間 ※ただし、付属品を除く	
お客様	お名前		※販売店 住所・店名 電話 () -
	ご住所 〒		
	電話 () -		

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障および損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理にかぎりです。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障および損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障および損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障および損傷
 - ④ 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障および損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障および損傷
 - ⑥ 本書の提示がない場合
 - ⑦ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ www.irisohyama.co.jp

お客様サポート

24時間365日
Web即時回答サービス



専用パーツのご購入

アイリスオーヤマ
公認通販サイト



製品に関する
お問い合わせ
(通話料無料)

アイリスコール 0120-311-564

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

修理に関する
お問い合わせ
(通話料無料)

修理専用コール 0800-170-7070

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・ご購入履歴のわかるもの・メモのご用意をお願いします。